

平成 27 年第 2 回定例会

補助138号線及び中川橋梁計画の推進

水元地域における道路の整備についてお伺いいたします。

幹線道路整備、その中でも、都市計画道路は地域を相互につなぐネットワークとしての役割のみならず、災害時の避難路、延焼遮断帯、緊急輸送路などの重要な機能を持つ都市基盤の一つです。

水元地域は、河川や鉄道などによる分断要素が多いため、地域間を結ぶ道路ネットワークの形成はまちづくりを進める上で欠かすことはできません。隣の新宿地域では、東京理科大学や葛飾新宿みらい公園の開設、そして、大規模な共同住宅の建設などにより、市街地の発展が着実に進んでいます。そのため、**南水元地域を介して、亀有地域や都心部へとつながる都市計画道路補助第138号線の整備、特に中川にかかる橋梁の整備が強く求められているところです。**そして、当然ではありますが、交通機関にとどまらず、災害時の緊急道路としてもその整備を急がなければなりません。

また、南水元土地区画整理事業が行われている地区の東側の区間で、事業を実施している都市計画道路補助第261号線につきましても、道路ネットワークの構築を考えると、補助第138号線に接続する区間や葛飾清掃工場前の通りから北側の区間についても、早期に事業着手すべきものと考えております。

都市計画道路の整備については、平成16年に東京都と特別区で定め、優先的に整備すべき路線を示した第三次事業化計画に基づき整備が進められております。この計画は、今年度が最終年次となっており、より効率的な道路整備を推進していくため、次期事業化計画の策定作



青木区長、都議、地元連合町会長とともに都庁・都市整備局を訪ね、安井局長に陳情。

業を都と区市町で進めており、東日本大震災の発生など、首都東京を取り巻く環境や社会経済情勢の変化を踏まえ、先月末には整備方針の中間のまとめが発表をされているところでもあります。

しかし、その中には、まだ具体的な路線は示されておりません。我が党といたしましても、補助第138号線や、そこから足立区に向かう橋梁の整備、さらには補助第138号線と接続し南北へと伸びる補助第261号線の整備について、**特に補助第138号線中川橋梁区間を次期計画の優先整備路線に着実に位置づけ、早期の事業着手実現を望んでおります。**

まちづくりは決して短期間でその成果があらわれるものではないことは十分に承知をしております。都市計画道路の整備に当たっては、道路ネットワークとしての効果や成果を得るまでには一方ならぬご苦労があると思いますが、事業化計画に位置づけられ、既に一部の区間において事業が進められている路線や事業効果の高い区間は、スピード感を持って積極的に路線の延伸や整備を行うことが必要であると考えます。

そこで質問いたします。

1、河川で囲まれている当地域は、災害対策などの危機管理の視点からも橋梁新設は極めて重要な事項であると思いますが、補助第138号線の橋梁建設に向けた区への取り組み状況、さらに今後の事業化スケジュールについて、区の具体的な考えを伺います。

2、また、橋梁建設を着実なものとするために、**我が党は地元代表の皆様とともに、東京都に対して地域の強い思い、生の声をしっかりと伝えたいと思っておりますが、行政としても協力をすべきではないでしょうか。**その点、どのようにお考えかを伺います。(裏面に続く)



伊藤よしのり議員の一般質問を受けて青木区長と同道して都庁に陳情。

2015 08 19